

防犯

情報



杉並警察
生活安全課長
中島 政彦

【犯罪抑止に勝る防犯なし】

本年二月二十八日付で、杉並警察署生活安全課長を命ぜられました。どうか宜しくお願い申し上げます。

「ご近所付き合い広目隊」の皆様には、防犯パトロールをはじめとする各種の防犯活動に積極的に取り組まれ、大きな成果を収められていることに対して敬服しているところです。

既に「案内のとおり、東京都内の犯罪は平成十二年から平成十四年まで三年連続して過去最高を記録し、犯罪の発生に検挙のみでは太刀打ちできない状態となりました。正に「検挙に勝る防犯なし」は死語になりつつありました。

そこで、平成十五年一月一日から、犯罪を封じ込むために「犯罪抑止総合対策」が全国警察で開始されました。「犯罪抑止対策」は、犯罪を発生させない為の各種防犯活動と検挙活動の両面から推進し、犯罪を封圧しようとするものです。

また、この対策を効果的に推進するため、警察はもちろん行政、地域が一体となって、安全・安心を実現しようとするものです。

ご近所付き合

- 9月7日 瓦版編集会議
- 8 瓦版印刷(区役所・区民センター)
- 9~ 瓦版配布
- 12 神幸祭昼食配布担当(19名)
- 18 BBS講演
- 24 南土木事務所(維持課)に違反広告物届ける
- 24・26 防犯ボランティア中央研修会参加
- 26 事務局会
- 10月2日 第15回集会
- 6 防犯団体連絡会幹事会出席
- 8 東京都防犯協会研修会出席
- 11 杉並区防犯のつどい 隊長報告発表15名参加
- 15 埼玉県警本部「防犯のつどい」パネリスト出演
- 23 都庁安全安心まちづくりアカデミーにて講演
- 11月2日 三島市市民大会にて講演
- 6・14 NHK取材
- 21・22 NHK取材
- 23 事務局会
- 27 NHK取材
- 28 第16回集会「お楽しみ会」
- 12月11日 NHKスタジオ収録
- 事務局会
- 区長と話す会出席
- 28 維持課に違反広告物届ける
- 31~ 馬橋稻荷神社にて写真展実施
- 1月6日 NHK放送
- 22 防犯餅つき大会準備
- 23 第17回集会「防犯餅つき大会」900人参加
- 男女平等推進センター取材・杉並新報取材
- 31 防犯団体連絡会幹事会出席
- 2月7日 目黒区役所取材
- 8 藤沢市視察
- 15 所沢市視察

犯罪抑止対策開始早々に、まちかど防犯パトロール隊をはじめとするボランティア団体が誕生し、犯罪抑止対策に大きな影響を及ぼしました。特に、皆様の「ご近所付き合い広目隊」は、防犯パトロール隊として全国に先駆けに足され、各ボランティア団体の範として大きな成果を収められています。

日本には昔から「五人組」「隣組」といった小さな組織があり、互いに守り合い、互いに助け合うという立派な伝統が継承されてきました。ところが、時代の流れとともに継承されてきた伝統が希薄化し、隣人同士の付き合いもいつの間にか忘れ去られ犯罪も急増し、正に「検挙に勝る防犯なし」が通用しない状態に陥ってしまったわけです。

しかし、それを見事に復活させたのが皆様の「ご近所付き合い広目隊」です。「ご近所同士が信頼関係を構築し、互いに声を掛け合い、自分たちの街を

「広目隊」は、全国の模範的パトロールとなっております。

杉並警察署におきましても、皆様の活動に負けないように「犯罪抑止に勝る防犯なし」を実現し、都民の皆様「安全・安心」を提供すべく犯罪抑止に取り組んで参りたいと考えております。どうか、今後とも引き続き宜しくお願い申し上げます。



【ありがとう「広目隊」そして再び...】

生活安全総務課 (前防犯係)

坂本達也

私事で恐縮ですが、この度、生活安全総務課に転勤となり、「ご近所付き

パトロールするこ
とで犯罪
の発生を
激減させ
るとい
う
伝統を復
活された
のです。
そして今
や「ご近
所付き合
い広目隊」との皆様とは、一端「お別れ」という事になりました。
私と「広目隊」のお付き合いも、私が平成一五年九月に防犯係員になつてからでしたので、ちょうど一年九ヶ月、短くも熱く燃えた充実した日々でした。

季節のいろいろどりの風物詩にあわせて行われる様々な「広目隊」の行事が走馬燈の様に頭をよぎります。梅の甘い香りに包まれて行う「防犯もちつき大会」、満開のしだれ桜のもとで行った「創立記念集会」、真夏の炎天下の中、かき氷の音が懐かしい「防犯バザー」、冬のとばりが降りる頃一年を振り返つての「お楽しみ会」：私自身計画段階から参加させて頂いたり、また「漫才」や「小芝居」を演じたりしたので、どれもが思い入れのある懐かしい行事です。しかし、これらの行事を楽しむことができたのは、皆さんの日頃の地道な「パトロール活動」と「その成果」があるからに他ありません。

新しい形の「ボランティア」活動を開拓・継続していくことは、並大抵のことではありません。しかし、「皆の笑顔が見たいから」ということでこの活動を続けられる限り、発展・定着されるものと信じています。私もこれからは「杉並署・坂本」から「一個人・坂本」としてお付き合いさせていただければと思っております。

フラッと顔をだしたら、肩をたたいて微笑んで迎えて下さい。「お帰り」と...